阿知須町広報

No.124　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

昭和37年3月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
印刷　宇部新聞印刷所

◇今月の税金◇
国保保険税第10期分
年金保険料の3月分
町県民税の申告は20日まで

区長更迭の届出を早く

＝4月1日までに＝

たちの町の行政に1年間、日夜尽力されました区長さんや納税組合長さんも今月で任期満了になり各部落で新区長さんや納税組合長さんが生れると思います。そこで一つお願いがあります。改選を速やかに、そしてきたる4月1日迄に区長の届出は町役場総務課へ納税組合長の届出は税務課へお忘れなく。

赤解消と中学校体育館建設を目指して

37年度の町民税・県民税の申告の月です

愛町の精神を一致して頑張りましょう!!

○町民税及び県民税……前年の所得について課税されますので、三十六年中の所得について申告して下さい。

○申告は……三月一日から三月二十日までの間にして下さい。

○申告をしなかったり、記入もれがあったときは……事業従業者としての取扱いや扶養控除などの所得控除障害控除などの税額控除が受けられなくなります。

申告があくれたときは同じ取扱いとなるので御注意下さい。

○申告について不明の点があるときは……税務担当者に相談して下さい。

○申告に不備で出ちがいがあったことに気付いたときは……税務担当者に申し出ていただければ、訂正について御相談に応じることになっておりますので、なるべく早く申し出て下さい。

☆…申告しなければならない人…☆

一、商業・工業・農業・漁業などの事業を営む人や、地代、家賃、配当などの所得のある人や、山林その他の資産を譲渡した人で、三十六年中に所得（利子所得は除かれます）のある人は、申告をしなければなりません。

したがって、雑損控除や医療費控除などの所得控除（七頁）や寡婦控除や、配偶者控除などの控除額（八頁参照）をすれば、税金がなくなるような人でも申告をしなければならないことになります。

三十六年中に所得金額が

ないときは、申告しなければなりません。

また、所得税においては、その年の所得の合計額が「九万円（基礎控除額）＋扶養控除額＋扶養控除額」よりもない人は、確定申告をする必要はありませんが、町民税及び県民税については申告をしなければならないことに御注意下さい。

※三十六年中の所得金額が赤字の人で申告する必要のない人であっても、三十六年中に生じた純損失又は雑損失の控除を三十八年度分の所得税及び県民税の計算の際に受けようとする人は、控除を受けるために申告することができますので御注意下さい。

二、給与所得者は、通常の場合は申告する必要はありませんが次のような特別の人は、申告しなければならない。

しなければなりません。

①給与所得のほかに、「地代、家賃、配当、原稿料、退職所得など」の給与以外の所得金額」がある人

この場合、給与以外の所得には利子所得は含まれません。

②家事手伝人…給与所得について源泉徴収を受けなかった家事手伝人で、その給与所得とそのほかの所得（利子所得は除かれます）のある人

③雑損控除又は医療費控除を受けようとする人

なお、この場合においては、別に作ってある雑損控除及び医療費控除に告書を提出して下さい。

【注意】所得税においては、通常給与所得以外の所得が五万円に満たないときは確定申告をする必要がありませんが、町民税及び県民税は申告をしなければなりません。

三、退職所得は、所得税においては通常の場合は申告する必要はありませんが、町民税及び県民税については申告をしなければなりません。

尚申告は別記の日定により行います。

時間は毎日午前8時30分より午後4時30分迄です。

部落別申告日定表

3月7日	小古郷、東条、引野、青畑、仙在
3月8日	鴨生原、細田、向井関、河内、源河
3月9日	中村、西条、浜、枝川、野口、井関
3月12日	飛石、砂合、浜表
3月13日	岩倉、寺河内
3月14日	月、赤迫

◇場所は町議会議場です。
公民館に変わる日もありますから御注意下さい。

国保の保険証を検認します

きたる3月20日より国民健康保険被保険者証の調査検認を行います。現在の保険証は有効期限が3月31日限りですからそれ以降は無効となります。従って加入者の方はもれなく31日までに町役場厚生課へ保険証を持ってお出向きの上検認を受けて下さい。

尚次に該当される方は印鑑をお忘れなく

☆会社、工場、船員その他国保以外の職場の健康保険に加入している者が国保と二重加入になっている。

☆よそへ転出している者が保険証に記入してある。

☆死亡した者の氏名が記入してある。

☆会社、工場その他の職場を退職したが国保の保険証に記入されていない。

☆よそから転入してきたが国保に加入していない。

☆出生児がのっていない。

自由にご覧下さい

固定資産の課税台帳

昭和37年1月1日現在で、土地家屋、償却資産の評価額が課税台帳に記載されましたので次の期間内に自由にご覧下さい。自分の資産を知っておくためにも絶非ご覧になって下さい。

期間　昭和37年3月1日より3月20日まで
場所　町役場（総務課）
時間　午前8時30分より午後4時30分迄

個人事業税が改正されます

申告は3月20日までに

昭和37年度の個人事業税から新しい控除制度と申告制度が設けられ、事業名右ち人はすべて事業税の申告書を自主的に提出することになりました。

従って期限までに申告をしないとこれらの特典が受けられぬことになりますので、申告書は必ず提出されるよう願います。

町内駅伝

第12回町内駅伝競走大会要項

1、日　時　3月11日午前9時30分開会式
午前10時30分出発　小雨決行

2、競技方法　13部落制対抗
①引野（引野、向井関、仙在、青畑）　②河内（源河、焼野、河内）　③玉川（井関、野口、枝川）　④赤浜（赤迫、浜表）⑤且、岡　⑥岩倉　⑦砂飛（砂合、飛石）　⑧寺浜（寺河内、浜）　⑨細田　⑩中西（中村、西条）　⑪東条　⑫鴨生原　⑬小古郷

3、選手資格及構成人員　何れも町民で下記に該当するもの
（イ）小学生1名　（ロ）中学生1名　（ハ）高校生1名
（ニ）青年2名　（ホ）30歳以上1名（満年令昭和7年3月31日以前出生者）
各13部落より2チーム以内は編成申込みを認める。尚令春3月各校卒生はそれぞれ小、中、高校生として出場してもよい。

4、各中継所幷び並びに選手の配置は
第1区　役場一東条（漁業組合前）1.45m　小学生
第2区　東条一岩倉（バス停留所前）3.300m　青年
第3区　岩倉一源河（ラジウム温泉前）5.500m　高校生
第4区　源河一引野（明栄寺前）2.400m　30歳以上
第5区　引野一野口（重永好雨氏宅横）2.900m　中学生
第6区　野口一役場（公民館前）4.500m　青年

5、走　路　下記図面の通り（昨年の大会と同じ）

6、優勝チームには優勝旗授与，入賞チーム、区間優秀者に賞状並びに賞品を授与する外参加チームに参加賞贈呈

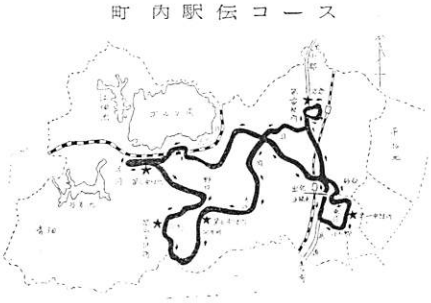
7、主将会議3月8日（木）20時より町議事堂において行いますので責任者は必ずご出席下さい。
、申　込　参加希望部落は所定の別紙申込書により3月8日まで（その後は認めません）に町公民館体協事務局宛申込みのこと。

9、その他　競技上の規定及注意事項は主将会議において伝達します。

町内駅伝年次優勝チーム

第1回	岩倉チーム	1時間17分03秒
第2回	引野チーム	1時間21分38秒
第3回	引野チーム	1時間17分45秒
第4回	且チーム	1時間16分49秒
第5回	且チーム	1時間16分49秒
第6回	引野チーム	1時間18分52秒
第7回	引野チーム	1時間16分33秒
第8回	引野チーム	1時間15分28秒
第9回	東条チーム	1時間14分31秒
第10回	小古郷チーム	1時間15分25秒
第11回	小古郷チーム	1時間19分30秒

町内駅伝コース



町内囲碁大会

西条区の梅田義雄さん優勝

さる2月4日町内の本因坊戦が行なわれました。当日は宇部徳山間の駅伝の通過と同じ日でした昨年の主将中村前収入役の姿が見えず一抹の寂しさがありましたが、参加者17名で、6級以上はA組、7級以下はB組とふた手にわかれて、日頃鍛えた腕をふるい？ましたが結局A組は梅田義雄さんが、B組は藤岡満さんがそれぞれ勝ち進み、両者で雌雄をかけて決戦が展開息づまる熱戦のうちに梅田さんの一目勝ちに終り、晴れの優勝杯は梅田さんの手に輝きました

春の火災予防運動
2月28日―3月13日
消防庁

通信　今月の行事と予定など

町

3月9日　定例町議会
3月11日　町内一周駅伝
3月上旬　農業委員会
3月下旬　保育園卒園式
3月下旬　区長、納税組合長集会

学校

☆中学校
3月7日　公立高校入学者選抜学力検査
8日　育友会後援会
3月10日　合同委員会
貯金日、謝恩会
3月13日　卒業式
3月14日　公立高校合格者発表
3月17日　二年保護者会
3月24日　修了式
3月26日

☆井関小学校
3月9日　子供会
3月10日　集金日
3月16日　貯金日、謝恩会
3月22日　卒業式
3月23日　父兄会
3月24日　睦遠足
3月26日　修了式

☆阿知須小学校
3月6日　新入児一日入学
3月8日　校内マラソン大会
3月14日　子供会
3月15日　貯金日　散髪日
3月20日　卒業式
3月23日　睦遠足
3月26日　修了式
婦　人　会
3月25日　青敷郡連合婦人会バレー大会（於小郡）

入学と卒業

家庭ではこんな心構えを

いよいよ三月。春のひざしもやわらかく、なんとなく解放感がわいてきます。また、近づく卒業、進学や就職の用意など、子どもをめぐる雑用の多い月です。そうした仕事の割りふり苦今からしつかりたてて、いざという時にまごつかないようにしておきましょう。なんといつてもお母さん方には頭の痛いところです。こどもの小学校六年の卒業生は本町も平均より15多いといわれ、入試や就職競争が年ごとにはげしくなるにつれ、親としても神経過敏になられることでしょう。また新聞の社会面では「このようなことを起さないために日ごろのお母さんお父さんの心構えが大切といえましょう。

学力より、しつけ健康が第一
こどもの進学と就職に
心から話し合える空気を

●…この四月、小学校一年生になる子どもさんのいる家庭には もう教育委員会から入学通知がとどき健康診断も間近にすきまれたことと思います。そこで子どもたちが楽しく楽つている新学期を身も心晴やかに迎えさせるためにはどんな注意が必要でしょうか。「もう学校に あがるのだから、と、いくら言いきかせてもうつともお行儀がよくならなくて、「一人つ子なのでさんの友だちになれるかどうかなど、いろいろ心配なさる親が多いです。

むしろ自由な遊びを

●…おかあさん方は子どもにとかく読みかた、書きかた、数えかたばかり熱心で「もう学校へあがるんだから」とムリにそや教を覚えさせようとしがちですけれどいくら教えられても、内容の理解ができていなくて同もなりません。子どもが自然に興味をもつて覚えるならともかく、ムリに覚えさせる必要は少しもありません。できましたら字はひらがなで自分の名前がかけ、また続めるていどでよいのです。むしろ自由に話しをしたり、友だちとあそんだりいろいろな事物や社会現象にふれさせる方がよいのです。

●…何といつても学校生活となれば家庭や幼稚園とは違います。教室には机、椅子も固定していますし、時間割もきちんとしていわば制約の多い環境の中に投げこまれるわけです。その上自分より背の高い子、力の強い子など級友仲間に取り囲まれるわけであります。つまりおくしやくなりがちな条件がそろつているわけですから、自信をもつて新らしい環境にのぞめるような心づかいが肝心です。だから、お行儀をよくさせようと、こそんなことでは学校へ行けませんね、学校へ行つたら先生にうんとしかられてしまうから」などの言葉は禁物です。明るい期待にみちた心、四月を待ち望む心、また緊張にみちた心、四月を待ち望ませましょう。

●…一人つ子、あるいは下に弟が一人いるていどの長子の場合は、家庭の中で大人たちに寄られすぎています。そのために社会性にとしく引つ込みがち、そこで今のうちに近所の子どもと一しよに遊ばせて集団生活へなじませておきましょう。また学校では上級生がとても偉く見え、おびえる気持ちになるので、大きい子もいつしよの仲間に入れて遊ばせておくこともよいでしよう。

新しい環境に
まず自信をもたせる

●…三月から四月にかけては進学、入学、就職などで生徒も学校も何かとあわただしく、また喜びや悲しみのうちにすごされます。進級の場合は比較的問題も少ないのですが、卒業とともなりますと、同時に就職や上級学校へ入学など新しい第一歩をふみ出すことになります。

温かい心のはげまし

●…卒業によつて今までの学校の管理下を離れてしまい、新しい入学校からはまだ自校の生徒としての指導がなされていないという状態、しかも進学に不合格の場合や就職のメドがついていないものは、とりわけこの時期には精神的にも極めて動揺しておりますから、家庭の温かい見守りがとくに必要です。失意のものに対しては広い広い立場から再起へのはげましをおくりまた新しい転換への示唆を与えるという[illegible]えがもつとも必要です。

また この時期の家庭の一般的な心がけとしては、子どもが本当に安ぎうちあけられるような親であり、子どもの言葉によく耳を傾けて相談にのるような態度やふいきが望ましく、子どもの行動に無関心もなりやり的なことがあつてはならないのです。

ぐちはこぼさない

●…三月は子どもにとつては精神的動揺期で、例年少年の犯罪や不良行為が激増にふえ、またあまつた昇進に走る少年も多くなります。そこで

①少年が進んで親に相談するような家庭のふんいきをつくり家庭内の話し合いの機会を多くして子どものなやみや不満を内攻させないようにする事心をもつこと。

②親自身が、平静なあたたかい心がけをもつこと。

③進入学、就職の試験に失敗しても、叱つたり、ぐちをこぼしたりしないで、必ず力づけて希望をもたせるようにする

④勉強や労働に無理のいかないよう、精神的にも肉体的にも健康には特に気をつけてやる事

みようというわけで就職する者もあります。そこで就職した子どもに対しては、社会に出て働らくということは、人間として尊いことであるという自覚をうながすことです。卒業して仕事につけばもう立派な一人前なのです。あらいさらい話し合つて両親のよい相談相手になつてもらうようお互いに心がけることです。

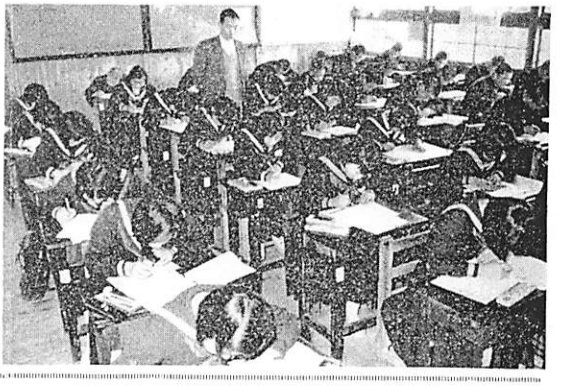
また子どもは親から一人前にあつかわれることで、どれほど誇りを持ちなおすかしれないのです。労働条件などの問題は中学校の就職係の先生や安定所で調整することになつているのですから子どもさんと話合つてムリなことがありましたら学校の方へ気軽に連絡してみてください

中学校では就職後の子どもの動向についてもよく気を配つていますから、同級生が上級学校へ進学して自分だけが就職しているように考えて、劣等感におそわれる子どもがあるのですが高校へ進学するのも就職するのもどちらを選ぶかは、どちらが本人にとつていちばんよいかを考えて決して人間として卒業があるわけでなく、むしろ数年たつてみると中学校を卒業してすぐ就職した生徒の方が待遇も地位も実力も高校卒業者以上になる結果が多くみられます。

自由な社会への門出
誇りをもたせて送ろう

話し合う機会をもつ

●…せつかく中学を卒業して就職しながらすぐ職場を離れるものが多い傾向があるのですが、これは労働条件が悪いため止むを得ず離職するというケースばかりでなく、就職後の身勝手から離職するのがふえています。例えば一度東京をのぞきたいので就職してみたとか、話しに聞いたほど面白くなく、ホームシックにかかつてしまつたとかいう場合が多いのです。また女子の場合には短期間だけ努めて



44回 短歌会詠草

（順不同）

旦　益弘吾一

喰ひ足りしものの安らぎ咬み合ひ居り戦が共とも暖合せ寝つ

旦　益弘喜久子

診察は終りたるらし相模の木を二階の窓あけ教えいる看

旦　岡本松枝

毛換え終る目毎朝は産み居れど家計簿の赤字なお続くなり

岩上　上重朝子

総会に集う男女ら手料理今日の一日をむつみ語らう

西条　原田陽子

実るまま家の庭の橙は採る人もなく風に揺れいる

寺河内　難波きぬ

手術後の春子苦しみ夜の明けてリンゲルの点滴はいく滴れり

北祝　原田英子

小雨降る路上を照らし花嫁を乗せしタクシーが回転えて消り

北祝　大野キヌエ

浮に乗る人夫らの歓迎じつつ工事中の橋おろおろ渡る

飛石　河崎幾代

練炭の灰捨てにゆく家庭のくぼみも埋まり冬水きれな

浜　石田サダ子

刈り取りしあら苗の中に一輪の河原撫子咲をもたりり

浜　正司ウメノ

目白鳥ささげし男の子が捨て去りし柳の一枝持ち帰りぬ

浜　早枝英雄

雪に折れし竹群浸り山越えて旅の帰りを写されんとす

36年度優良こども会きまる

小中学生の校外生活のひま時を楽しく、しかも健康的に、有意義になるための町内各子ども会も昭和30年発足以来、その内容も一段と成長し活潑化してきていますが、このたび昭和36年度優良ども会として次の3こども会が決定、町こども会連絡補導協議会から表彰されます。

☆岩倉辻こども会　永年にわたる岩倉限構内等の奉仕作業により表彰を受けました。入選は去年振り初同以来三度目です。

☆砂倉三区こども会　酒勝内谷、亡父兄の子ども会への関心度

☆杖川こども会　酒勝内谷、亡父兄の子ども会育成の関心度

なお、すでに表彰ずみの優良こども会は次の8こども会です。

昭和33年度　寺河内こども会、浜こども会

昭和34年度　細田南こども会、引野こども会

昭和35年度　非園こども会、北浜こども会、小古郷西区こども会

ちまたに無軌の話題の多い昨今こども会活動から守り、健全な社会生活をおくらせることは私達おとなの責任でありましょう、みんなで子ども会を育てていきましょう。

町広報紙が県広報大会で表彰を

この阿知須町広報が県コンクールで入選し、去る2月27日から三日間開かれた山口県広報研究大会で表彰を受けました。入選は去年振り初同以来三度目です。

入賞した市町村は

①市　部　特選　下関市　入選　山口市、徳山市

②町村部　特選　鹿野町　入選　橋町、阿知須町、大島町、美東町、田布施町

慶弔録

婚姻

夫　糸山　秋　久賀米
妻　機村　美恵子　中村
おめでとうございます。

この縁をおいつまも。

出生

夫山根　望　能郡
妻重村和子　砂三
御健度を祈ります。
おめでとうございます。

細田　要治　長男　亮吉　小西
北山　利幸　二男　学二　砂三
蔵岡　菁弘　長男　知行　細南
尾　光秋　長女　博美　河内
中村　稔　二女　雅子　旦西
山下　金次　二男　津夫　砂三
重村　三成　長男　誠　旦北
片岡　純一　二男　幸治　寺河内
松崎　友徳　長男　徳彦　浜表
酒田　健一　長男　一也　恵比須
古谷　忠　三男　雅之　赤迫
綱重　稔　長男　和之　細南
松尾　礼治　長女　裕子　細南
伊藤　清　二女　邦子　飛石

死亡

おくやみ申し上げます。

松村ハマヲ	1月30日80	細南	
細田　ウタ	2月8日89	細北	
西村　モヤ	2月12日74	砂二	
岸本ナツキ	2月14日74	東	
坂田　酒	2月15日71	野口	
山本ヨシノ	2月24日68	飛石	
森重　キヨ	2月24日83	杖川	
中川カネコ	2月25日74	細北	